

## ファビオ・ボッタッツォ

ファビオ・ボッタッツォはジャズ・ギタリスト、コンポーザー、彼の音楽はポストビバップ、アコースティックとモダンジャズの間に位置する。

ボッタッツォのギタープレイからはジム・ホール、ジョー・パス、さまざまな影響が感じられるが、絶え間ない発展を常に続けていて、彼自身の個性あるフレージングを持っていることがわかる。

サイドマンとしてロック、オルタナティヴ、ジャズアルバムを録音し、2007年には、繊細な演奏に定評のあるベーシスト東聡志と、彼のファースト・アルバム”Beginning Blues”を制作した。

イタリアと日本を中心に、バンドで、またソリストとして演奏し、仙台の「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」、「新潟ジャズストリート」などにも参加している。

ブルーノ・マルコツィ、藤井政美、セバスティアン・カプテイン、森泰人など、多くのミュージシャンと共演。

ファビオ・ボッタッツォは、1971年、イタリアのパドヴァで生まれた。16歳の時ギターを手にして、すぐに80年代のロックに影響を受ける。

1993年から96年まで、イタロ・デ・アンジェリスにジャズギターとハーモニーを師事。この時期、様々なジャンルの音楽を学びながら、録音と演奏活動を続ける。

その後、1996年に、ウンブリア・ジャズで開かれたバークリー音楽院のサマースクールに通う。

2002年には、3年通った“ユニヴェルシタ・デッラ・ムージカ”でディプロマを取得。その後、ファビオ・ゼッペテッラに師事。

パット・メセニー、ウォルフガング・ムースピール、スコット・ヘンダーソン、マイケル・マンリングなどのセミナーに参加。チャーリー・バナコスにも師事。

2004年から日本に滞在。サイドマン、リーダーとして出演しながら、音への絶え間ない探求を続けている。

2010年5月ニュー・アルバム「イツ・ノー・コインシデンス」を発表。

メンバーは森泰人（b）とセバスティアン・カプテイン（d）で、ファビオのオリジナル曲が中心になっている。

8月、このアルバムが、田中伊佐資氏により音楽専門・衛星デジタルラジオ MUSIC BIRDの番組「THE JAZZ Brand-new CD」及び「ジャズライフ」誌9月号（第395号）のJL音質探検隊で紹介される。

同時期、「ジャズ批評」誌（第 157 号）にロング・インタビューが掲載される。  
また、アルバム「イツ・ノー・コインシデンス」は、「ジャズ批評」誌（第 160 号 - 2011）  
が策定した「My Best Jazz Album 2010」の 14 位に、さらにこのアルバムに収められた  
「In un Giorno di Pioggia」は「Best Jazz Melody 2010」の 18 位に選ばれた。

2010 年 9 月 4 日 NHK ラジオ番組「地球ラジオ」のスポット「ワールド・ミュージック・  
シーン」に出演。

「2011 年 7 月」

Official site: [www.fabiobottazzo.com](http://www.fabiobottazzo.com)  
ブログ:「ファビオからのお知らせ」<http://fabioblog.exblog.jp>